

「Aひがし」がわかわが小学校の年用外国語教材

東川町農協（板谷重徳組合長）は7月14日、町内の小学5年生用の副教材に「と日本教育新聞社（東京）、日本農業新聞（同）」の2社で共同編集、製作した小学校高学年用の社会科副教材「農業とわたしたちの暮らし」の3冊シリーズ「農業の仕組みとお金のしくみ」（A4版、24ページ）、「農業の今と日本の食」（同、同）、「農業のやくわりと環境」（同、同）を町教育委員会に寄贈しました。



農業系統団体の金融組織、JAバンクの主導で今年から始めた食農教育応援事業に同農協が呼応

しました。板谷組合長が町教委を訪れ、三宅良昌教育長に町内4小学校の5年生89人全員が学べるように、教師用解説書とともに1001セット寄贈しました。

本は、国内の主な農産物の生産地やいろいろな農産物が届くまでの仕組み、低下する一方の食料自給率の変化、農産物を届ける流通、金融の仕組み、わたしたちの地域を守る農業の役割などが詳しく解説してあります。社会科学に限らず、理科、総合学習でも活用できる内容になっています。



写真家作品の展示收藏をはじめとして写真文化の普及に努めているということですが、一行は、文化ギャラリーで「東京写真月間2008」巡回展、キトウシ森林公園物産センターでは、地元人形作家の宮竹真澄人形展を見学しました。表敬訪問した松岡市郎町長との懇

町内公共施設に外国語表記の案内板が登場

町内を訪れる海外観光客にも分かりやすい施設案内を―と町内の主要公共施設にこのほど、各国語で表記した案内板が登場しました。

設置したのは、西町2、運送業吉田孝志さん（58）。役場庁舎、農村環境改善センター、道の駅・ひがしかわ道草館、文化ギャラリー、B&

G海洋センターの5カ所に洗面所、非常口、禁煙・喫煙所を示す表示板をパソコンで自作して取り付けました。

表記しているのは、日本語、英語、中国語、韓国語の4カ国語。英語は和英辞書を片手に、吉田さん自ら翻訳しました。

6月30日、韓国江原道（ガン・ウォン・ドゥ）ヨンゴオル郡の写真博物館長ジョン・スン・ウ氏、同館文化芸術課員オウン・ウィ・ヨン氏ら3人が、写真の町の取り組みを視察するために本町に来町しました。

中国語表示の担当は、中国帰国者家族として中国で生まれ育った吉田さんの妻秀美さん。韓国語表示は東川観光協会のジョン・ミスンさんが担当しました。

町内にも年々外国からの観光客が多く訪れるようになっていきます。「これからは海外のお客様にもおもてなしを意識しなくては…」と思いついたそうです。



中国人強制連行事件の殉難慰霊祭 今年もひがわで

7月7日、東14号共同墓地で中国人強制連行事件殉難烈士慰霊祭が行われました。

東和土地改良区（荒川和雄理事長）、旭川日中友好協会（淀川徳（つとむ）会長）、東川町仏教会（会長・風間直樹東川寺住職）が中心となって毎年慰霊しています。

松岡市郎町長をはじめ、旭川、東川両市町の議会議員、旭川華僑総会、在日朝鮮人会、在日民団関係者、来道している在旭中国人留学生ら約50人が列席しました。

松岡町長は「強制連行されてきた方々の力が、戦後本町農業の発展の礎になりました。犠牲者の方々の無念の思いを後世に伝えるため望郷の碑を建立し、大雪遊水公園を整備しました。これを機に日中両国の永遠の友好親善と、恒久平和を願います」と誓いを新たにしました。

1944（昭和19）年、忠別川江卸発電所建設の関連工事として造成された農業かんがい用の遊水池建設工事で、強制連行されてきた338人の中国人労働者のうち、88人が過酷な労働の中で死亡しました。その人々を供養するため、1972（昭

和47）年に慰霊碑が建立されました。この日は日中戦争の引き金となった盧溝橋事件（昭和12年）から71周年の日。慰霊碑建立36周年と併せて、改めて平和と友好の誓いを新たにしました。



街路灯の化粧直しボランティア

7月12日、榊小岩組共栄会（石澤正義会長）の皆さんが、中心市街地のメイン通り、道道旭川旭岳温泉線にある街路灯の塗装ボランティア作業をしました。

町内の建設会社、榊小岩組の協力企業でつくっている親交会が毎年行っています。今年で5年目になりま

東川中でめだかの稚魚の育成

東川中学校でめだかの親子がすくすくと元気に育っています。生徒たちは飼育担当の「めだか係」も作りました。「このまま来年度まで育てみたい」と張り切っています。

2年B組（蛭名大広先生、30人）の教室に水槽を置いて飼育しています。5月下旬、生物で「めだかの血管を見る」をテーマにして授業をした後、教材用として使った親魚6尾を、生徒が「飼育したい」と提案。そのまま教室内で飼育を続たところ、親魚が産卵し約20尾の稚魚が誕生しました。

生徒の一人が自宅にあった飼育栽培図鑑を持参。餌やり、水槽の水交換など、毎日の管理の参考にしました。



た。その甲斐あって、稚魚はすでに約3センチほどの大きさにまで順調に育ち、今は「1年生の理科の実験で水草を使っているの、実験が終わったら水槽の中に水草も入れるつもり」と日々飼育環境が充実しているようです。



北町2丁目から東町2丁目間約700メートル区間の街路灯、案内柱18基の木部と基礎部分の塗装はがれを塗り直し、これで化粧直しも万全。観光シーズンピークの時期に向けて、きれいな街路になりました。